

水害経験と備える知恵 (近江八幡市鷹飼町)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情複、第422号) 第三者がさらに複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

①毎年1回川浚い、毎年4月と10月に道普請していた (区画整理前(昭和40~50年)まで)

①昭和28年 台風13号
避難できずに屋根の上に避難
田舟が救助に来た



②昭和34年 台風7号の水害写真

⑥現在はJRのアンダーパスができているため
ここが排水路の役割をしてくれる



③昭和34年 台風7号の水害写真

⑤一番低く、いつも浸水する(7軒)
元々は田んぼ

④川のような感じで浸水する

【凡例】	
● (Blue)	戦前に破壊・越水、浸水が発生した場所
● (Yellow)	戦後から昭和年間に破壊・越水、浸水が発生した場所
● (Red)	平成以降に破壊・越水、浸水が発生した場所
■ (Orange)	水害に対する知恵を確認できる場所
■ (Yellow)	過去の水害に対する詳細情報
■ (Green)	水害に対する知恵の詳細情報

③倉庫に米を移動させた
肥料が水で流された

②必ず水がつくところ

その他の知恵
八反田(小字名)の田の中に人工堤防を造り、上流から流れてきた水を防ぐという治水対策を行っていた。
その他の水害情報
昭和28年9月に浄土寺町地先が決壊。日野川の水が倉橋部から馬淵通り桐原へと流れ鷹飼町へと流れてきたのは、浄土寺町地先が決壊してから1時間後のことだった。

